

全国道路施設データベース
公開用 API 基本仕様書

国土交通省

目 次

1. 本基本仕様書の目的及び概要	1
2. 公開用 API 基本仕様書の定義仕様項目	2
3. 公開用 API の定義	3
3.1. API 接続方式	3
3.1.1. 通信プロトコル	3
3.1.2. REST 対応	3
3.1.3. エンドポイント(接続先 URL)	3
3.1.4. バージョンコード	3
3.1.5. 日本語の文字コード	3
3.2. 施設種類ごとのデータ項目	4
3.2.1. 施設種類ごとの ID について	4
3.2.2. 施設データの項目(パラメータ)名一覧	4
3.3. リクエスト	4
3.3.1. データの参照 API	4
3.3.2. 物理ファイルの取得 API (例: EXCEL による点検様式等の付属ファイル)	4
3.4. レスpons	4
3.4.1. JSON 形式のデータ	4
3.4.2. ファイル出力	5
3.4.3. エラーレスポンス	7
3.5. API 一覧	8
3.5.1. データ参照 API 一覧	8
(1) 施設データの参照 API	8
3.5.2. 付属ファイル(物理ファイル)の取得 API 一覧	8
3.6. 各 API において指定するパラメータ	9
3.6.1. 施設データの参照 API のパラメータ	9
(1) 施設データ参照 API	9
(2) 当該施設の最新基礎情報参照 API	11
(3) 施設データ高度検索 API	11
3.6.2. 付属ファイル(物理ファイル)の取得 API のパラメータ	13
(1) 第 77 条点検報告書様式ファイル取得 API	13
(2) 付属ファイルリスト取得 API	13

(3) 付属ファイル取得 API.....	14
3.7. パラメータの定義における留意事項.....	15
3.7.1. パラメータ構造.....	15
3.7.2. パラメータ名.....	15
3.7.3. 選択肢.....	15
3.7.4. 複数年データ.....	15
3.7.5. 日付表記の統一.....	15
3.8. 利用制限.....	16
3.9. 利用申請.....	16
3.10. 認証機能.....	16
3.10.1. API キー方式.....	16
3.11. 利用規約.....	16
4. 用語集.....	17

1. 本基本仕様書の目的及び概要

公開用 API 基本仕様書は、「全国道路施設データベース」において、オンラインにて提供する道路構造物に関する諸元や点検データ、交通量データ等をデータ参照するための API に関する基本仕様書です。

公開用 API 基本仕様書は、以下の 3 点の資料で構成しています。

- ・基本仕様書（本書）
- ・提供するデータ項目のパラメータ一覧
- ・API リファレンスサンプル

「**基本仕様書**」は、上記 API の基本的な記述仕様を示すものとします。

（2019 年 3 月 28 日 API テクニカルガイドブック（内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室）に準拠）

「**提供するデータ項目のパラメータ名一覧**」は API にて扱うデータ項目のパラメータ名を示すものとします。

（ただし、施設データに関するデータ項目はあくまで道路法第 77 条相当の項目までとしているため、左記以外のデータ項目を本 API にて取り扱う場合は、本基本仕様書のルールに準じて新たにパラメータ名を定義されることを想定します）

「**API リファレンスサンプル**」は、API による呼出しや実行結果の詳細仕様例のサンプルを示すものとします。尚、「**API リファレンスサンプル**」の概要を **4.リファレンスサンプルの概要** に示します。

公開用 API を利用する参照用アプリにおいては、以下に大別した区分を想定した API としています。

- ・参照用アプリ(無償)
- ・参照用アプリ(有償)
- ・参照用アプリ(非公開)

参照用アプリ(有償)、参照用アプリ(非公開)にて利用する API のセキュリティ対策については、取り扱う情報の機密性を確保するために API キー方式を採用しています。

2. 公開用 API 基本仕様書の定義仕様項目

本公開用 API 基本仕様書における定義項目は以下のとおり。

項	題名	内容
3.1	API 接続方式	API の接続プロトコル等の仕様
3.2	施設種類ごとのデータ項目	施設種類ごとのデータ項目等の仕様
3.3	リクエスト	API 呼び出し時のパラメータ等
3.4	レスポンス	API 呼び出し結果の仕様
3.5.	API 一覧	公開用 API における API 機能の一覧
3.6	各 API において指定するパラメータ	3.5、3.6 の API において指定するパラメータの定義
3.7	パラメータの定義における留意事項	3.7 のパラメータの定義における留意事項
3.8	利用制限	API の利用を制限する場合の仕様
3.9	利用申請	認証を要する API を利用するための必要な申請について
3.10	認証機能	API にて採用する認証方式について
3.11	利用規約	API を利用する上での利用規約

3. 公開用 API の定義

3.1. API 接続方式

3.1.1. 通信プロトコル

セキュアな HTTP プロトコルである **HTTPS** によって通信を行う。

API を設置するサーバは TLS(SSL)対応を必須とする。TLS のバージョンは 1.2 以降とする。

3.1.2. REST 対応

本 API のデータ参照様式は、REST(記述方式)に則った仕様を基本とする。

3.1.3. エンドポイント(接続先 URL)

接続先の URL は以下の仕様とする

https://{API 設置サーバのドメイン}/xROAD/api/{バージョンコード}/{リソース名}?{検索条件}

リソース名とは参照するデータの種類を表し、リソース名の後ろに検索条件を記述するものとする。

各施設種別の基礎情報（無償提供部分）の公開情報に関する接続先 URL を下表に示す。

施設種別	接続先 URL
道路橋	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/bridges
トンネル	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/tunnels
シェッド	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/sheds
大型カルバート	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/culverts
横断歩道橋	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/pedestrian_decks
門型標識等	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/overhead_signages
舗装	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/pavements
特定道路土工構造物	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/earthworks
標識	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/signages
照明	https://road-structures-db.mlit.go.jp/xROAD/api/v1/lightings

検索条件の内容については後述する。

なお、各施設種別の詳細情報（有償）の接続先 URL 等については、契約完了後に管理団体から送付する（『データ利用までの流れ』参照）。

3.1.4. バージョンコード

バージョンコードは頭文字 v + バージョン数字とし、エンドポイントに含めて記述される。

例えばバージョン 1 なら「v1」と記述する。

3.1.5. 日本語の文字コード

本 API を利用した通信上で、日本語を扱う場合は、**文字コードは UTF-8** とする。

3.2. 施設種類ごとのデータ項目

3.2.1. 施設種類ごとの ID について

本 API による施設データの参照は、施設の種類ごとにサーバが異なるため、URL を分別する。

以下に URL 内にて、施設の種類を区別するための ID を示す。

ID	意味
bridge	道路橋
tunnel	トンネル
shed	シールド
culvert	大型カルバート
pedestrian_deck	横断歩道橋
overhead_signage	門型標識
pavement	舗装
earthwork	道路土工構造物(大型カルバートを除く)
signage	標識
lighting	照明

3.2.2. 施設データの項目(パラメータ)名一覧

別紙「API データ項目名一覧」を参照

3.3. リクエスト

3.3.1. データの参照 API

REST の仕様によって、GET メソッドを用いてデータの参照を行う。

一部の API は POST メソッドを用いる(理由は後述)

3.3.2. 物理ファイルの取得 API (例 : EXCEL による点検様式等の付属ファイル)

GET メソッドを用いて API にアクセスし、ファイルのダウンロードを行う。

3.4. レスポンス

3.4.1. JSON 形式のデータ

バイナリファイル(上記 3.3.2 にて取得する物理ファイル)以外は、JSON 形式の文字列として、以下のデータを返す。

- metadata
API の内容やリクエスト情報など
- resultset
検索結果の件数や 1 ページのデータ数など
- result
参照に成功した場合は参照したデータを、失敗した場合はエラーの内容を含んだ処理結果を返す。

上記の要素を下表に再掲する。

No.	区分	パラメータ名	必須	内容
1	metadata	title	○	データの内容を示すタイトル
2		detail		データの内容説明
3		parameter	○	リクエスト時に渡されたパラメータ
4	resultset	is_error	○	処理にエラーがある場合は true。ない場合は false
5		error_title		エラーのタイトル。is_error が true の場合は必須
6		error_detail		エラーの詳細
7		count		対象データの件数
8		limit		一度に参照するデータ数の上限
9		offset		データ参照開始位置
10	result	—		結果データ

レスポンス例

```
{
  "metadata":{
    "title": "橋梁データ一覧",
    "detail": "橋梁データの一覧",
    "parameter": {
      "area": "35.35,35.44,139.35,139.46"
    }
  },
  "resultset":{
    "is_error": false,
    "limit": 25,
    "offset": 0,
    "count": 4
  },
  "result":{
    (施設データ)
  }
}
```

3.4.2. ファイル出力

バイナリ形式のファイルは、HTTP の仕様(RFC6266)に準じて、ファイルの種類に合ったレスポンスヘッダを出力した上で、続けてバイナリデータを送信する。

3.4.3. エラーレスポンス

処理中に致命的なエラーが発生した場合、適切なHTTPレスポンスコードとエラー内容をJSON形式で返す。

No.	レスポンスコード	内容
1	400	リクエスト内容に問題有り
2	401	認証エラー
3	404	存在しないAPIにアクセスされた
4	429	一定時間内のアクセス数超過
5	500	サーバ内部エラー
6	503	メンテナンス中

レスポンスボディ(本文)にJSON形式でエラーな内容を記述する。

No.	パラメータ名	内容
1	code	HTTPレスポンスコード
2	message	エラーの詳細な内容

レスポンス例

```
{  
  "code": 400,  
  "message": "検索範囲が日本国内を超えています"  
}
```

3.5. API 一覧

3.5.1. データ参照 API 一覧

データ参照 API の一覧を以下に示す。尚、各 API にて指定する具体的なパラメータは 3.6 に示す。

(1) 施設データの参照 API

No.	名称	記述規則	内容
1	施設データ 簡易参照 API	/ {施設種類 ID} s? 検索条件 例) /bridges?検索条件	施設データの過去分を含めた簡易な検索
2	最新施設データ 簡易参照 API	/ {施設種類 ID} s/lastest?検索条件 例) /bridges/lastest?検索条件	最新の施設データの簡易な検索
3	施設データ 高度参照 API	/ {施設種類 ID} s/search	高度な条件で施設データの 詳細な条件による検索

検索条件は後述する。
詳細な検索条件式は「検索条件」に記述する。

3.5.2. 付属ファイル(物理ファイル)の取得 API 一覧

No.	名称	検索条件	内容
1	第 77 条点検調 書様式ファイル取 得 API	/ {施設種類 ID} /report77/ {施設 ID} / {年度} 例) /bridge/report77/35.2134,139.112/2020/	施設 ID と年度を指定して、77 条調 査様式ファイル(※)のダウンロード ※国交省 HP「道路の老朽化対策」 に掲載の道路橋等の記録様式
2	付属ファイル リスト取得 API	/ {施設種類 ID} /otherFileList? {検索条件} 例) /bridge/otherFileList?shisetsu=35.1234,130.1 2345	付属ファイルをダウンロードする必要が ある場合に、ダウンロード対象のファ イルリストを取得する
3	付属ファイル 取得 API	/ {施設種類 ID} /otherFile/ {ファイル ID} 例) /bridge/otherFile/35.2134,139.112/7654321	ファイル ID に紐付いたファイルをダウ ンロード 複数ファイルがある場合は複数回実 行

3.6. 各 API において指定するパラメータ

3.6.1. 施設データの簡易参照 API のパラメータ

(1) 施設データ簡易参照 API

指定した検索条件にマッチする施設データを過去分も含めてすべて参照する。

検索条件はクエリパラメータとして設定する。

パス: {施設種類 ID}s

メソッド: GET

No.	パラメータ	内容	施設データの参照する 基礎項目パラメータ名	省略時
1	shisetsu	施設 ID	shisetsu_id	すべての施設
2	pref	都道府県コード指定	syogen.gyousei_kuiki .todoufuken_code	すべての都道府県
3	city	市区町村コード指定	syogen.gyousei_kuiki .shikuchouson_code	すべての市区町村
4	area	東西南北端の座標を指定し、範囲内の施設を抽出する。南端緯度、北端緯度、西端経度、東端経度を 10 進法表記のカンマ区切りで記述。順序は自由だが、日本国内を外れる座標を指定するとエラーとなる。	北端・南端 : syogen.kiten.ido 東端・西端 : syogen.kiten.keido	すべての範囲
5	name	施設名に指定キーワードを含む施設データを抽出。 キーワードは URL エスケープが必要。	syogen.shisetsu.meis you	すべての施設名
6	furigana	施設名フリガナに指定キーワードを含む施設データを抽出。キーワードは URL エスケープが必要。	syogen.shisetsu.furig ana	すべてのフリガナ
7	nendo	指定年度が合致する施設データを抽出	tenken.nendo	すべての年度
8	limit	一度に参照する施設データの件数を指定	—	100 件
9	offset	検索結果の参照開始位置を指定	—	0

表 3.6.1 簡易参照 API における検索条件パラメータ

検索 URL サンプル集(ドメインは仮称)

千葉県の 2020 年度の橋梁のデータを検索

GET <https://www.example.go.jp/xROAD/api/v1/bridges?pref=12&nendo=2020>

北緯 35.35~35.44 東経 139.35~139.46 に囲まれた範囲で橋梁のデータを検索

GET <https://www.example.go.jp/xROAD/api/v1/bridges?area=35.35,35.44,139.35,139.46>

「蔵前」というキーワードを施設名に含む橋梁のデータを検索

GET

<https://www.example.go.jp/xROAD/api/v1/bridges?name=%E8%94%B5%E5%89%8D%E6%A9%8B>

(2) 当該施設の最新基礎情報簡易参照 API

指定した検索条件にマッチする施設データを**最新の基礎情報のみ**参照する。

検索条件は前項の施設データ参照 API と同じ。

パス: {施設種類 ID}s/lastest

メソッド: GET

使用例(ドメインは仮称)

北緯 35.35~35.44 東経 139.35~139.46 に囲まれた範囲で最新の橋梁データを検索

GET https://www.example.go.jp/xROAD/api/v1/bridges/lastest?area=35.35,35.44,139.35,139.46

Web 地図上にアイコンを表示する場合などに使用できる。

(3) 施設データ高度検索 API

GET の文字数制限を回避するために、POST メソッドを利用する。

POST メソッドを用いてリクエストボディに JSON 形式で検索条件を渡す。

パス: {施設種類 ID}s/search

メソッド: POST

No.	種類	パラメータ	内容	省略時
1	検索条件配列 (querys)	key	検索項目を指し示すキー 入れ子の項目はドットで繋いで表現する	入力必須
2		value	検索する値	入力必須
3		op	比較方法。1:'='等しい。2:'≠'等しくない。 3:'<'検索値より小さい。4:'>'検索値より大きい。 5:'≤'検索値以下。6:'≥'検索値以上。7: 検索値を含む	入力必須
4	並び順配列 (sortOrder)	Key	検索項目を指し示すキー 入れ子の項目はドットで繋いで表現する	結果は不定
6		order	ソート方向。0:昇順。1:降順	0:昇順
7		offset	検索結果の参照開始位置を指定	0
8		limit	一度に参照する施設データの件数を指定	100 件

パラメータ入力例) 橋長が 10m 以上 20m 未満の橋梁データの参照をリクエスト

```
{
  "querys": [
    {
      "key": "syogen.kyouchou",
      "value": "10",
      "op": "6"
    },
    {
```

```
    "key": "syogen.kyouchou",
    "value": "3",
    "op": "6"
  }
],
"sortOrder": [
  {
    "key": "string",
    "order": "0"
  }
],
"offset": 0,
"limit": 0
}
```

3.6.2. 付属ファイル（物理ファイル）の取得 API のパラメータ

(1) 第 77 条点検報告書様式ファイル取得 API

指定した施設 ID・点検年度が合致する第 77 条点検報告書ファイルを取得する。

パス: {施設種類 ID}/report77/{施設 ID}/{年度}

メソッド: GET

(2) 付属ファイルリスト取得 API

検索条件にマッチする施設データに紐づく付属ファイル(画像、PDF 等)の、ファイル ID 等のファイルリスト(情報)を参照する。

検索条件のパラメータの形式は、施設データ参照 API のものと同一である。

パス: {施設種類 ID}/otherFileList?{検索条件}

メソッド: GET

例) 施設 ID35.1234,130.12345 の橋梁に紐づくファイルリストを取得する

GET <https://www.example.go.jp/xROAD/api/v1/bridge/otherFileList?shisetsu=35.1234,130.12345>

レスポンスには、ダウンロードに必要な情報が、ダウンロードするファイルの個数分だけ配列の形で返ってくる。

No.	パラメータ	内容
1	file_id	ファイルを特定するための ID
2	file_name	ファイル名
3	shisetsu_id	施設 ID
4	shisetsu_meisyou	施設名称

レスポンス例。resultSet などは省略して表記

```
{
  resultSet: [
    {
      file_id: 7653232,
      file_name: "〇〇橋 全景.jpg",
      shisetsu_id: "35.12345,130.12345",
      shisetsu_meisyou: "〇〇橋"
    },
    {
      file_id: 7653233,
      file_name: "〇〇橋 主桁 1.jpg",
      shisetsu_id: "35.12345,130.12345",
      shisetsu_meisyou: "〇〇橋"
    }
  ]
}
```



```
}
```

ファイルリストに記載されたファイル ID を、次項(3)の付属ファイル取得 API にパラメータとして指定して呼び出すことで、ファイルをダウンロードできる。

(3) 付属ファイル取得 API

前項のその他付属ファイルリスト取得 API を利用して取得したファイル ID に合致するファイルを取得する。

パス: /{施設種類 ID}/otherFile/{ファイル ID}

メソッド: GET

例) ファイル ID7654321 のファイルをダウンロードする

```
GET /bridge/otherFile/35.2134,139.112/7654321
```

3.7. パラメータの定義における留意事項

施設項目の定義をもとにして、API のパラメータを設定するにあたり、できるだけ表記のゆれをなくして使いやすくするために、以下の基準でパラメータの定義を行うものとする。

3.7.1. パラメータ構造

- ・項目のグループごとにまとめて入れ子にし、ツリー状の構造とする
- ・JSON で表現できるデータ構造とする
- ・パラメータ名を表記する場合は、入れ子の親から子へ順に「.」(ドット)で繋いで表記とする。

3.7.2. パラメータ名

- ・半角英数字で表記し、単語の接続はスネークケースとする
- ・項目名をローマ字で表記する。ただし元がカタカナの場合は英語表記とする
例) 定義ファイル → teigi_file
- ・項目名が冗長になる場合は、項目名として使える適度な長さに短縮する

3.7.3. 選択肢

・複数の中から一つを選択する項目は、選択肢の内容を直接書き込むのではなく、コード表を作成してコードを入力する。

例) 高速自動車国道・都道府県道・一般国道

↓

1:高速自動車国道・2:都道府県道・3:一般国道

・「○△□」などの記号や「有り・無し」などで表現されていた部分もコード表記に統一する。

例) 有り・無し → 1・0

3.7.4. 複数年データ

・2018,2019...といった年度毎に 1 列割り当てられているデータは、配列として表現する。

3.7.5. 日付表記の統一

・年データは西暦とする。フォーマットは YYYY

例) 2021

・年月フォーマットは YYYYMM

例) 202109

・年月日フォーマットは YYYYMMDD

例) 20210901

3.8. 利用制限

本公開用 API は、以下の 3 種類の参照用アプリによる利用を想定した API としている。

- ・参照用アプリ(無償)
- ・参照用アプリ(有償)
- ・参照用アプリ(非公開)

上記の 3 種類のうち、参照用アプリ(有償)、参照用アプリ(非公開)において、本 API を利用する場合は、それぞれの利用が承認された利用者によりのみ利用を許諾する。

3.9. 利用申請

本公開用 API は、以下の 3 種類の参照用アプリによる利用を想定した API としている。

- ・参照用アプリ(無償)
- ・参照用アプリ(有償)
- ・参照用アプリ(非公開)

上記の 3 種類のうち、参照用アプリ(有償)、参照用アプリ(非公開)については、本 API を利用するにあたり、規定の利用申請により、API の利用手続きを行うものとする。

3.10. 認証機能

本公開用 API は、以下の 3 種類の参照用アプリによる利用を想定した API としている。

- ・参照用アプリ(無償)
- ・参照用アプリ(有償)
- ・参照用アプリ(非公開)

上記の 3 種類のうち、参照用アプリ(有償)、参照用アプリ(非公開)にて扱うデータの取り扱いを鑑み、**API キー方式による認証機能**を具備した API の実装とする。

3.10.1. API キー方式

API を利用するアプリごとに API キーを発行し、API アクセス時にその API キーを HTTP ヘッダに記述することによって、発行対象のアプリからのアクセスであることを認証する。

発行対象以外のアプリからのアクセスを防ぐため、発行時に登録したドメイン名や IP アドレスからのアクセス以外は拒否する。

- API キー記述ヘッダ

API-key

- API キーフォーマット

半角英数字 40 文字

3.11. 利用規約

別途の利用規約を参照

4. 用語集

用語	フリガナ	定義
1 : N	イチタイタ	1 対多。一つの情報に対して複数の情報が対応づいた関係
API	エーピーアイ	外部のアプリケーションやプログラムからのリクエスト(要求)に対し、一定の情報を提供するためのサービス。 Application Programming Interface の略
API キー方式	エーピーアイキーハウシキ	アカウント情報ではなくアプリケーションを識別する暗号化された文字列を API 利用者側が、API 利用者時のリクエスト内に含めて送る認証方式。
GET	ゲット	HTTP リクエストメソッドの一つで、リソースの取得・参照を行うという命令
HTTP ステータスコード	エイチティーティーピーステータスコード	HTTP プロトコルに従った Web サーバからのレスポンスにおいて、その通信結果を表す 3 桁のコード
HTTP プロトコル	エイチティーティーピープロトコル	インターネット上で、Web クライアントからリクエストを送り、それを受けて Web サーバからレスポンスを返すことで、データの送受信を行う規約
HTTP ヘッダ	エイチティーティーピーヘッダ	Web コンテンツの伝送に用いられる HTTP で、メッセージの前半にある制御情報を記した領域のこと
HTTP リクエスト	エイチティーティーピーリクエスト	一方から他方へ送信される、何らかの要求、あるいは、メッセージのこと。本書の場合、API を呼び出す行為とそのために必要なデータのことを表す
HTTP リクエストボディ	エイチティーティーピーリクエストボディ	HTTP リクエストを構成する 3 つの部品のひとつで、送信内容の「本文」にあたる部分
HTTP リクエストメソッド	エイチティーティーピーリクエストメソッド	HTTP プロトコルで定義された、リソースに対する振る舞いを定義した命令。GET・POST など数種類が定義されている
HTTP レスポンス	エイチティーティーピーレスポンス	リクエストを受けた対象(サーバ)が処理の結果をリクエスト元に返すこと。あるいは返すデータを指す
ITTF	アイティーイーエフ	インターネット技術特別調査委員会。インターネットに関する標準化団体
JSON	ジェイソン	異なるプログラミング言語間でデータをやりとりするための、共通のデータ記述形式の一つ。RFC8259 にて定義
multipart/form-data	マルチパート/フォームデータ	リクエストで複数のフォームデータ(マルチパート)を送るための形式。複数の異なる種類のデータを格納する方式。主にファイルアップロードで利用される。
POST	ポスト	HTTP リクエストメソッドの一つで、リソースの作成を行うという命令

用語	フリガナ	定義
REST API	レストエーピーアイ	Web システムを外部から利用するためのプログラムの呼び出し規約 (API) の種類の一つで、「REST」(レスト) と呼ばれる設計原則に従って策定されたもの
RFC	アールエフシー	IETF による技術仕様の保存、公開形式。インターネット上の通信を始めとする技術の仕様の標準としてよく使われる
TLS(SSL)	ティーエルエス/エスエスエル	インターネット上におけるウェブブラウザとウェブサーバ間でのデータの通信を暗号化し、送受信させる仕組み。現在は SSL の後継の TLS が用いられるが、慣習として SSL と呼ばれることが多い
UCS	ユーシーエス	符号化文字集合や文字符号化方式などを定めた、文字コードの国際標準のひとつで、業界規格の Unicode と概ね互換である
URI エンコード	ユーアールアイエンコード	文字列を URL に含める場合に、RFC3986 に定められた利用可能文字以外を変換して問題ない URL にすること
Unicode	ユニコード	文字コードの国際的な業界標準の一つで、世界中の様々な言語の文字を収録して通し番号を割り当て、同じコード体系のもので使用できるようにしたもの
URI	ユーアールアイ	Uniform Resource Identifier の略称。インターネット上で、リソースの場所などを表現する識別子
UTF-8	ユーティーエフエイト	Unicode/UCS で定義された文字集合を表現することができる文字コード (符号化方式) の一つ。一文字を 1~6 バイトの可変長で表現するもので、様々な言語の文字を扱える文字コードとしては世界的に最も普及している。正式名称は、ISO/IEC 10646 では “UCS Transformation Format 8”、Unicode では “Unicode Transformation Format-8” という。
エンドポイント	エンドポイント	ネットワークに接続された端末のアドレス。本 API におけるエンドポイントは、API に アクセスするための URI を指す
クエリパラメータ	クエリパラメータ	API 利用時にサーバへ送る URI のうち、'?'以降の検索条件を表す部分
スネークケース	スネークケース	プログラミングなどで英語の複合語やフレーズ (句)、文を一語に繋げて表記する際に、単語間のスペース (空白文字) をアンダースコア (_) に置き換える方式。
スレッド	スレッド	プログラムの処理の実行単位。通常、分岐やループがあっても、プログラム全体は 1 つの流れになっている。
データフォーマット	データフォーマット	複合的なデータの記述方法を定めたもの。データ形式
バイナリ	バイナリ	コンピュータが直接的に処理するために 2 進数で表現されるデータ (バイナリデータ) のことを指す
パラメータ	パラメータ	プログラムの動作を決定するために指定する数値や文字列
プログラム	プログラム	コンピュータに対する命令 (処理) を記述したもの

用語	フリガナ	定義
プロパティ	プロパティ	ソフトウェアが取り扱う対象の持つ設定や状態、属性などの情報を指す事が多い
ページネーション	ページネーション	データを小さく分割した単位及びそのアクセス先をページと呼ぶ。全データではなく特定のデータを要求する場合、欲しいデータ（ページ）を指定することとなる
リソース名(本 API)	リソースメイ	本 API においては、API によって取得するデータの種類を表す名前のことを指す

● 更新履歴

Ver.	更新年月日	内容	備考
1.0	2022.7.12	新規作成	